

ほしぞらメール

発行：那覇市立牧志駅前ほしぞら図書館
〒902-0067 那覇市安里 2-1-1
TEL:917-3450 FAX:866-9243
発行日：2023年12月1日(第139号)



蔵書点検のお知らせ

蔵書点検のため下記のとおり休館いたします。
ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。
下記に掲載している館以外は開館しております。

休館する館

12/6(水)～12/20(水) 12/6(水)のみ全館休館です
牧志駅前ほしぞら・首里・繁多川図書館
及びまーいまーい naha 図書室

蔵書点検期間中は、予約本の受け取り・貸出はできません。
返却については、本・雑誌はブックポストが開館している館へ。
視聴覚資料は開館している館、または当館の開館後にカウンターへの返却をお願いします。

12月

休館日：金曜
蔵書点検：12/6(水)～12/20(水)
年末年始：12/29(金)～1/5(金)

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

※12/28(木)は9:30-17:00までの開館となります。

1月

休館日：金曜・公休日・第三水曜日
年末年始：12/29(金)～1/5(金)

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

おはなし会

毎月 第1、第2、第3日曜日の11時から
おはなし会を行います。
絵本の読み聞かせなど
楽しいことがいっぱい!

時間：11:00～11:30
場所：牧志駅前ほしぞら図書館 おはなしのへや
対象：0歳から～小学生
参加費：無料

日にち	内容(予定)
12/3(日)	としょかん職員によるおはなし会
12/10(日)	蔵書点検のためお休み
12/17(日)	蔵書点検のためお休み
12/24(日)	としょかん職員によるおはなし会
1/7(日)	おはなしポケットさんによるおはなし会
1/14(日)	あこさんによるおはなし会
1/21(日)	としょかん職員によるおはなし会

※おはなし会の内容や場所は変更になる場合もあります。
館内の「今月のおはなし会」の案内にてご確認ください。

令和5年度 なは教育の日 特集展示

展示期間：12/2(土)～12/28(木)

12月9日の「なは教育の日」にちなんで、特集展示を行います。一般書「入門書からひろがる学びの世界」、郷土書「今すぐ行きたい離島フェア」をテーマに多数の本をご用意しますので、ぜひご覧ください。

～おはなしがいっぱい 報告～

なは教育の日関連事業として11/19(日)に「おはなしがいっぱい」が開催されました。天候にも恵まれ、多数の参加がありました。人形劇や朗読劇、ダンスを踊ったり大変盛り上がりました。参加していただいた皆さま、ボランティア団体の皆さま、ありがとうございました。

年末年始休館のお知らせ

12月29日(金)～1月5日(金)は
年末年始のため休館いたします。

1月6日(土)より開館します。

※12月28日(木)は9:30～17:00までの臨時開館となります。
年末年始ブックポスト利用時間のお知らせ(牧志駅前ほしぞら図書館のみ)

- 12月31日(日) 9:00～19:00
- 1月1日(月) 建物が閉まる為、終日利用できません。

※祝日・年末年始(12/29～1/3)にブックポスト利用の際は、
隣接駐車場の割引はありません。ご了承下さい。

新着資料(12月)

一般書



資料名	著者名
春夏秋冬で楽しめるおりがみ壁飾り	いまい みさ // 著
作ったあとにたっぷり遊べる3・4・5歳児の製作	ポット編集部 // 編
家庭科3だった私ที่บ้านでも外でも100%手作り服でコーディネートしています。	津田 蘭子 // 著
風工房のモチーフ、ブレード&エンジグ	風工房 // 著
樋口 愉美子ウール刺繍の愉しみ	樋口 愉美子 // 著
体が整うとおきのしょうがレシピ	森島 土紀子 // 著
1日1杯。体がととのう野菜のスープ	今井 ようこ // 著
低糖質のキッシュとタルト ケークサレ	山本 蓮理 // 著
チーズのケーキとお菓子季節のレッスン50	森岡 麻以 // 著
フランス流暮らしの歳時記	
ネコDKデラックス	
犬おやつの教科書	俵森 朋子 // 著
字の大きなアトラス世界地図帳	平凡社 // 編
字の大きなアトラス日本地図帳	平凡社 // 編
弘前れんが倉庫美術館	田根 剛 // 著
まちよみ・またよみ	内田 早苗 // 著
奈良絵本・絵巻	石川 透 // 著
律令国家前夜	前園 実知雄 // 著
世界探検全集 (12)	スウェン ヘディン // 著
日本周遊奇談	井上 圓了 // 著

資料名	著者名
家族が誰かを殺しても	阿部 恭子 // 著
タコのはなし	池田 譲 // 著
しつこい坐骨神経痛腰痛は足首テーピングでよくなる	萩原 祐介 // 著
もう悩まない耳鳴りに勝つ方法	山田 浩之 // 著
文章で金持ちになる教科書	しかまる // 著
聞き書き世界のサッカー民	金井 真紀 // 文と絵
樋口一葉赤貧日記	伊藤 氏貴 // 著
ニヤタレー夫人の恋人	菊池 良 // 著
キッチンが呼んでる!	稲田 俊輔 // 著
あの日々	高木 國雄 // 著
斜陽の国のルスダン	並木 陽 // 著
ロスト・スピーシーズ	下村 敦史 // 著
パストの夜 (上)	オルハン パムク // 著
パストの夜 (下)	オルハン パムク // 著
終わらない週末	ルマーン アラム // 著
公安警察	古野 まほろ // [著]
日本の絶望ランキング集	大村 大次郎 // 著
サルデーニャの蜜蜂	内田 洋子 // 著
ワイルドサイドをほつつき歩け	ブレイディみかこ // 著
知れば知るほど面白い警察組織	稲葉 圭昭 // 監修
魔女推理	三田 誠 // 著
日曜劇場VIVANT (上)	福澤 克雄 // 原作
メグレと若い女の死	ジョルジュ シムノン // 著
郵便局	チャールズ ブコフスキー // 著
転落	カミュ // 著



職場体験の感想

【期間：10/24(火)～10/26(木)】



今回の体験で、図書館の仕事はカウンター業務だけでなく、裏方の仕事も多くあると知り、自分が利用者の時には見れなかった、こんな苦勞もあるのかと分かった。特に、那覇市立図書館の本は、どこでも借りられるが、その裏では、てい送処理が行われていて、そのおかげで便利なシステムが成り立っているのだと分かった。今まで図書館に行くことはあまり多くなかったが、もっと行くようにしたい。
(開邦中学3年 Aさん)

働くというのは、初めての体験で、三日間とてもきんちょうしました。初めは慣れていなくて、いっぱいいっぱいだったけど、三日目には初日と比べてはスムーズにできていたと思います。職員のみなさんは、とてもあたたかくて、とてもやりやすかったです。利用しやすくするための、いろいろな工夫が見れてよかったです。この体験を今後に活かしていきたいです。
(開邦中学3年 Iさん)



おきなわの本



資料名	著者名
九州・琉球の戦国史 戦いの国から安全の国へ	福島 金治 // 著
やんばる学びのポリフォニー	名桜大学リベラルアーツ機構 // 編
ナナムイの神々を抱いて 宮古・池間と佐良浜の祭祀	加藤 久子 // 著
西表島オーパ コミュニティ・リゾートという未来	李 有師 // 著
沖縄の中小企業・同族会社 起業から事業承継相続まで	平良 修 // 著 (税理士)
空手!四大流派の神髄 糸東流・剛柔流・和道流・松濤館流	『月刊秘伝』編集部 // 編集

だいたい		かいたひと		だいたい		かいたひと	
じ ど う し よ	むらさきしきぶにつきてんさいさか 紫式部日記 天才作家のひみつ	紫式部 // [原作]	え ほ ん	バーバパパとゆかいなかぞく	アリス テイラー // 作 トマ テイラー // 作		
	いじわる ^{まじよ} 魔女とルビーの ^{ひみつ} 秘密	あんびる やすこ // 作 絵		おおきなりのもの すかんえほん	スズキ サトル // 絵		
	もしも ^{くさき} 草木が ^{はな} 話したら?	ピエルトメニコ バッカラリオ // 著 フェデリコ タッチェア // 著		ちがうのどれだ?	ごしま 正太郎 // 作 絵		
	うえをむいて ^{めいたんてい} 名探偵	杉山 亮 // 作		てくてくとことこ	いしかわ こうじ // 絵		
	すず ^{おく} の ^{がみしゆぎょう} 送り神修行ダイアリー	山下 雅洋 // 作		かくれているよ	新井 洋行 // 著		
	にているもの ^ど こが ^{ちがう} の?	柘原 礼士 // 監修		しっちゃかめっちゃか ^サ ンタのいちねん	リック ベーターズ // 作 フェデリコ ファン ランター // 絵		
	ふしぎ ^{まち} 町のふしぎ ^レ ストラン 6	三田村 信行 // 作 あさくら まや // 絵		バスにのって	かしわら あきお // え たにぞう // ぶん		
	せいり ^し の ^ひ みつ	アサミネ 鈴 // まんが		おせちの ^{みんな} あつまって!	真珠 まりこ // 作 絵		
	でんき ^{あんぜん} を ^{つか} 安全に ^え 使えるひみつ	水木 繁 // まんが		いちご ^サ ンタ	大塚 健太 // ぶん わたなべ あや // え		
	がっこう ^う か ^ひ っぱの ^ひ 生まれた日	山本 悦子 // 作 市居 みか // 絵		20 ^ぴ きのお ^し ょうが ^つ	たしろ ちさと // 作 絵		
	な ^か ま ^カ ナ?	新井 爽月 // 作 浅沼 とおる // 絵		よく ^み て ^さ が ^そ う ^{せい} しよ ^え ほん クリスマス	ギル ガイル // え		
	ぜい ^{きん} の ^ひ みつ	おがた たかはる // まんが		この ^あ な ^{なん} じや 3	みぞくち ともや // え		
じゅう ^{たくと} そ ^う の ^ひ みつ	大岩 ピュン // まんが	サンタ ^{さん} み ^つ け!	パラダイス山元 // ぶん ソリマチ アキラ // え				
ひ ^{みつ} の ^ち か ^と しよ ^{かん} 4	アビー ロングスタッフ // 作	つき ^よ の ^ア イス ^ホ ッケー	ポール ハーブリング // 文 マット ジェームス // 絵				
ガリ ^{バー} の ^む すこ	マイケル モーパージュ // 作	タタム	みついきなこ // 作 絵				
Y A	しょう ^{せつ} き ^{どう} せん ^し の ^{すい} せい ^{まじよ} 1	高島 雄哉 // 著	ちい ^さ なちい ^さ な ^ヤ クの ^ガ ー ^{ティ}	ルー フレイザー // 文 ケイト ヒンドリー // 絵			
	ミ ^{ラー} 、ミ ^{ラー} 上・下	ジェン カロニータ // 著	だ ^さ ない ^て が ^み	みあ // 著			
	こい ^{ずみ} やく ^も と ^{よう} かい ^い	小泉 凡 // 著	ど ^ん ない ^え に ^す み ^た い?	ジョージ メンドーサ // 文 ドリス スーザン スミス // 絵			



令和5年度 読書週間関連企画の報告

私のペースで
しおりは進む
2023・第77回 読書週間
10/27～11/9



★ 特別展示『英国ミステリーツアー』★

10/19 (木)～11/14 (火) までの読書週間の期間、資料の展示、貸出を行いました。

『英国ミステリーツアー』“ファンタジー編” “名探偵編” をテーマに英国のファンタジー小説やミステリー小説を多数揃え、多くの方にご利用いただきました。



★ 秋のキラキラおはなし会 ★



11/5(日) に秋のキラキラおはなし会を開催しました。小祿南図書館で活動している「おはなしボランティアシークワサー」さんの

出前おはなし会に子ども7人、大人4人の計11人が参加してくれました。手遊びや巻物絵本の読み聞かせなど盛りだくさんの内容で楽しいおはなし会になりました。

★ オリジナルしおり&リサイクル本の提供 ★

100枚用意したオリジナルしおりは、全て提供でき、たくさんの方々に喜んでいただきました。リサイクル本も一般書、児童書、雑誌共に大好評でした。

★ 本の福袋 ★

図書館職員と職場体験生が選書した22セットの福袋(3冊入り)を用意し、貸出しました。テーマもおもしろいと好評でした。



一般書特集

江戸川乱歩作家
デビュー100周年

探偵&推理小説 特集

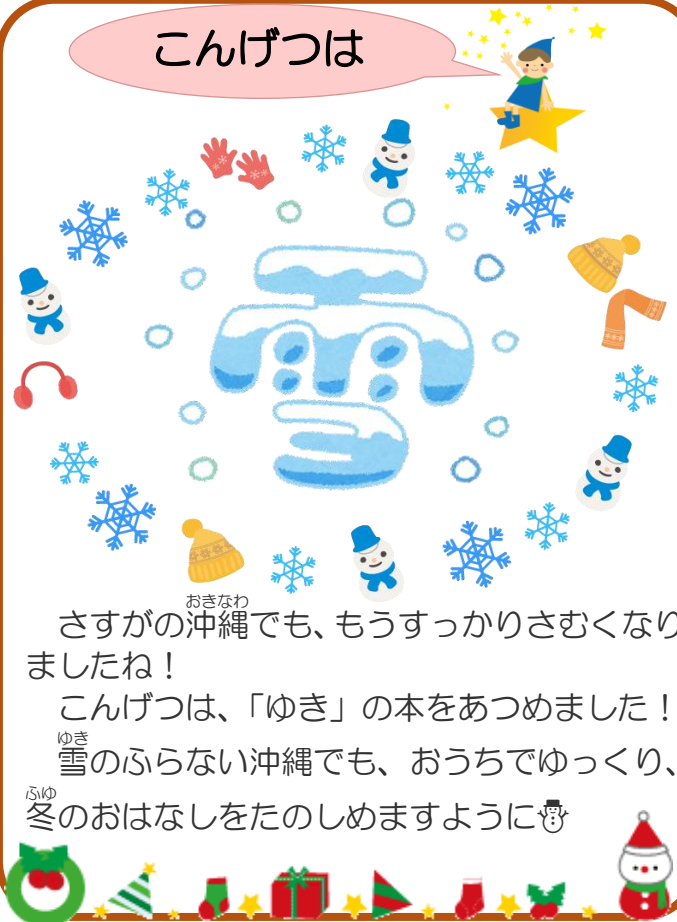
名探偵“明智小五郎”は、国内で屈指の知名度を誇る架空の私立探偵です。今年は彼の生みの親である江戸川乱歩の作家デビュー100周年にあたります。



そこで江戸川乱歩作品はもちろん、国内外新旧問わず様々な探偵小説&推理小説を集めました！ぜひご堪能下さい。

じどうしょ特集

こんげつは



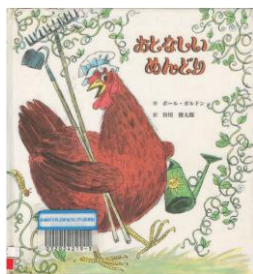
さすがの^{おきなわ}沖縄でも、もうすっかりさむくなりましたね！

こんげつは、「ゆき」の本をあつめました！

^{ゆき}雪のふらない沖縄でも、おうちでゆっくり、^{ふゆ}冬のおはなしをたのしめますように🌨

ほしぞら図書館発 おすすめ絵本紹介！

『おとなしいめんどり』



作：ポール・ガルドン
訳：谷川 俊太郎

みんなのためにせっ
^{はたら}せと働くおとなしい
めんどりさん。

はたしていつまでもそうでしょうか。

^{わたし} ^{にんげん} ^{にちじょうせいかつ}
私 たち人間の日常生活でもありそう
^{はなし}
なお話なので、オススメの1冊です♪



実は
この本の作者、
私です！

作者紹介



チャールズ・ ディケンズ

(Charles Dickens) 1812~1870

イギリスの国民的文豪、永遠の大衆作家。ロンドンのスラム街に育つ。働きながら大英博物館に通って勉強し新聞記者になった後、21歳で最初の小説を発表。

ジャーナリストの目で見つめた作品は大衆に歓迎された。1843年の『クリスマス・キャロル』はクリスマスを介し、苦しみや悲しみを知るからこそその人生の喜びを描いた。日本での翻訳出版は1888年。他の作品は映画にもなった『オリバー・ツイスト』『デヴィッド・クーパーフィールド』など。作家として名を立てた後は慈善活動にも熱心だった。